

令和 2 年度 工賃向上計画書（下半期）

事業所（施設）名	ぱれっとワークス自然館			事業種別	就労継続支援 B			
平均工賃の推移	前々年度（平成 30 年度）実績				前年度（平成 31 年度）実績			
	期	上半期	下半期	通期	期	上半期	下半期	通期
	月額	7,292	9,615	8,454	月額	6,319	6,637	6,478
	時間額	277	353	315	時間額	270	333	302
今年度平均工賃の 上半期実績と 下半期目標	今年度上半期実績と下半期目標				令和 2 年度以降の目標			
	期	上半期実績	下半期	通期	期	R 3 年	R 4 年	R 5 年
	月額	3,341	8,333	5,837	月額	5,850	5,860	5,870
	時間額	235	421	352	時間額	355	356	357
目標と比較した 上半期の工賃 支給状況	項目	対目標値	目標値からの差異発生の要因					
	支払総額	46 %	新型コロナウイルス感染拡大防止による販売会等の減少					
	延べ工賃支払対象者数	85 %	利用者の通所自粛による					
	延べ勤務時間数	52 %	新型コロナウイルス感染拡大防止による販売会等の減少					
	平均 工賃	月額	54 %	新型コロナウイルス感染拡大防止による販売会等の減少				
	時間額	87 %	新型コロナウイルス感染拡大防止による販売会等の減少					
上半期平均工賃 目標未達成 の要因分析 (目標未達成の場合)	新型コロナウイルス対策で販売の場を失い、自主製品製造作業が減っていた。また緊急事態宣言により、5月は作業自粛をしていたため未達成となってしまった。							
優先的にクリ アーしなければ ならない課題の 具体的な内容と 対応策	自主製品の注文販売を中心に作業を増やす。 利用者の増員を目指す。							
上半期に工賃向 上に効果を上げ た具体的な事項								
下半期におけ る、目標達成 に向けた対応策	ウイルス感染対策をしながら、販売会には積極的に参加する。 注文販売を増やすため、PRを強化する。 内職は2か所と契約しているため、途切れなく作業が出来るよう調整する。							